

SAF JAPAN NEWSLETTER



THE STUDY ABROAD FOUNDATION
AN INTERNATIONAL UNIVERSITY NETWORK

2013 Summer Edition

教育的観点から構成された出発前オリエンテーション

SAF日本事務局では帰国学生のフィードバックを受け、これから留学する学生の事前準備の一環として、2013年春出発より第2回出発前オリエンテーションにて、参加プログラム別に2つの講座を導入しました。

A. 留学とグローバル人材 ～異文化での心構え～ (〈語学力強化プログラム参加者対象〉)

この講座は、留学を単に語学の習得の機会としてとらえるだけでなく、留学を通してグローバル人材になることを目標に据えることを目的として実施されました。

参加者はまず、これまでの人生を振り返り、留学をしたいという思いに至った過去を年表にします。その後、講師の説明を通して、グローバル人材と言われる人たちが兼ね備えるべき言語・コミュニケーション能力、異文化に対する理解力、日本人としてのアイデンティティーおよび柔軟な考え方などについて理解を深めます。後半は、講座の最初に理解した内容をもとに、ワールドカフェという話し合いの手法を用いながら、「自分がグローバル化することで日本はどう変わるか?」というテーマに基づきグループごとに議論します。



ワールドカフェの手法を用いたディスカッションの様子(左)およびブレインストームした内容(右)



講座の最初は静かなグループも多かったですが、講師を担当しているスタッフが各グループを回りヒントを与えることで、少しずつ自分の意見を周りに伝える参加者がだんだん活発な意見交換が行われました。

B. アカデミック・スキルズ ～授業履修の心構え～ (〈その他の留学プログラム参加者対象〉)

この講座は、日本と海外の大学の授業の受け方の違いを理解し、海外の大学の授業に臨むにあたって事前に習得しておかなくてはならないスキルを学ぶための動機付けを目的に実施されました。

参加者はまず、準備をしないでレクチャーを

受けるとどのような感じになるのかを体験するために、「The United States Electoral College and the Development of Political Parties」に関するレクチャーを英語で受けます。このレクチャーは、欧米式のスタイルで進

行し、講師が一方に話すのではなく、参加者は様々な質問を投げかけられ、積極的に発言するよう促されます。レクチャー後には、学習成果を上げるために効果的な授業の受け方について、皆で意見を出し合った上で、授業におけるインプットやアウトプットの仕方、試験対策に有効なノートの取り方や教科書の読み方やまとめ方など、具体的な方法についてスタッフより説明を受けます。

参加学生からは、「今まで漠然とした不安があったが、出発までに準備すべきことが具体的に分かった」という前向きな声が多く聞かれました。

SAFでは、教育学、異文化コミュニケーションや英語教授法の分野で修士号を取得しているスタッフが中心となり、留学に関する各教育プログラムを開発しています。オリエンテーションでの教育プログラムの実施は初めての試みでしたが、多くの学生にとって有意義な体験となったようです。一方で、留学前から既に高い語学力を身に付けている学生も増えてきており、今後はそうした学生に向けたプログラムの開発が必要であると考えています。

プログラム内容	対象者 (以下の留学プログラムの学生)
A. 留学とグローバル人材～異文化での心構え～ 1. 自分年表を作成する 2. グローバル人材とは何かを理解する 3. ディスカッション	● 語学力強化プログラム
B. アカデミック・スキルズ～授業履修の心構え～ 1. 英語によるレクチャーを体験する 2. ディスカッション 3. 留学先での学習効果を高めるために ● 知っておくべきことについて理解する ● 準備とプランニング ● 授業への積極的な参加大学の授業で求められる各スキル	● 学部授業履修プログラム ● 語学力強化+学部授業履修プログラム ● アカデミック・インターンシップ・プログラム

受けることのような感じになるのかを体験するために、「The United States Electoral College and the Development of Political Parties」に関するレクチャーを英語で受けます。このレクチャーは、欧米式のスタイルで進

SAFネットワーク校一覧

アメリカ

カリフォルニア大学
アーカンソー大学
アイオワ大学
アメリカン大学
アラバマ大学
アリゾナ州立大学
アリゾナ大学
インディアナ大学
カリフォルニア大学
サンタバーバラ校
カリフォルニア大学
サンディエゴ校
カリフォルニア大学
パークレー校
エクステンション
カリフォルニア大学
リバーサイド校

コロサンセルス校
カリフォルニア大学
コロサンセルス校
サマーセッション
コロラド州立大学
コロラド大学 ボルダー校
コロンビア大学
ゴンザガ大学
サンノゼ州立大学
サンフランシスコ州立大学
セント・トーマス大学
テキサスA&M大学
デュルクセル大学
ニューヨーク州立大学
バツファロー校
パデュア大学

バーモント大学
ハワイ大学 ヒロ校
バンダービルト大学
ペンシルバニア大学
マウント・ホリオーク大学
ミシガン州立大学
ミドルベリー大学
ミネソタ大学
モンタナ州立大学
モンタナ大学
ユタ大学
ワシントン大学国際関係学部
ISAYAインスティテュート
カナダ
カルガリー大学*
トロント大学*
ビクトリア大学

イギリス

ウェストミンスター大学
エジンバラ大学
オックスフォード大学
セント・アンズ・カレッジ
グラスゴー大学
プリストル大学
ロンドン芸術大学
ロンドン大学
クイーン・メアリー校
ユニバーシティ・カレッジ・ロンドン
アイルランド
アイルランド国立大学
ダブリン校*
リムリック大学
オーストラリア

ウーロンゴン大学
クイーンズランド大学
ニューサウスウェールズ大学
マッコーリー大学
ニュージーランド
オタゴ大学
カンタベリー大学
ビクトリア大学 ウェリントン
ヨーロッパ言語
フランス: アンジエ・カトリック大学*
スイス: ローザヌヌ大学
ドイツ: ライプツィヒ大学
スペイン: マラガ大学
レオン大学*

SAF国際キャリア開発プログラム

アメリカン大学
ワシントン・セメスター・プログラム
エジンバラ大学
パーラメント・インターンシップ・プログラム
FIE ロンドン・インターンシップ・プログラム
FIE ロンドン春短期4週間
国際キャリア開発プログラム
AIC ニューヨーク/シンガポール春短期4週間
国際キャリア開発プログラム

* 語学力強化プログラムのみの提供となります。



信州大学
国際交流センター
センター長
赤羽 正雄 先生

「グローバル人材育成プラン」を確実に進めるために

本学では、“HOP”（グローバル社会に視野を広げるモチベーションづくり），“STEP”（グローバル人材になるための知識・スキルの獲得），“JUMP”（グローバル社会へ飛躍）の3段階方式でグローバル人材を育成していくこととし、“卒業する学生の10人に1人が海外体験を持つレベル”を一つの目標として、多くの施策を実施しています。

平成24年度より交換留学をする学部生に対して、「留学に伴う計画的特例履修制度」を

導入しています。海外留学の経験は、グローバル社会に対する興味と視野を広げさせ、必要な知識・スキル獲得に有効であると考えられます。しかし、1年間交換留学した多くの学生はカリキュラムの関係から標準修業年数で卒業できず、1年間の留年を余儀なくされるのが実態です。この経済的負担の増加により留学を断念している学生も多くいることから、本制度の適用を希望する学生は、事前（留学前）に、留学前・留学中・留学後に亘る特例履修計画を提出し審査を受けます。適用を許可された学生は、計画的に履修期間を延ばし、4年分の授業料納付により5年間で教育課程を履修し卒業することが可能となります。

また、国際感覚を身に着け成長することを促進させるため、海外活動により得られた多

様な成果を適正かつ積極的に評価する科目「国際教養」を新設しました。本学に対応科目がない、開講科目と履修内容が異なる等の理由で単位取得ができない海外活動に対しても、海外で学んだ広範な内容を包括的に捉えて履修対象とし、学生個々の申請履修内容を全学教育機構学務委員会が審査し単位付与します。

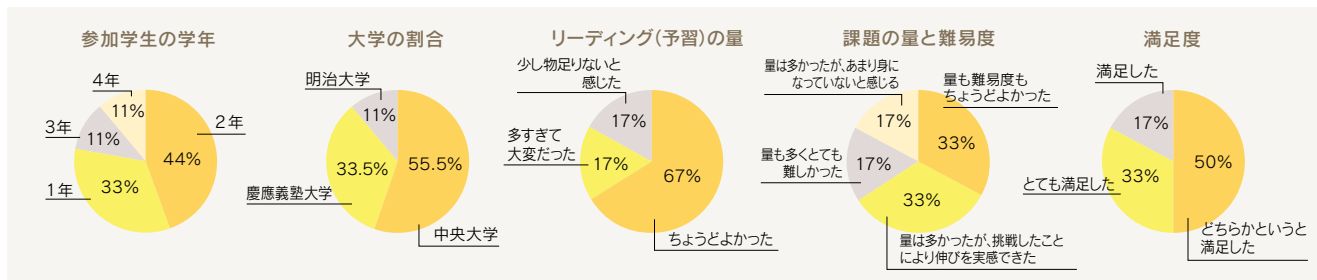
先月には、SAFの留学コーディネータを講師として、留学すればグローバル人材になれるのか？留学が今後の人生設計の中で本当に有益か？等を考え、留学やグローバルであることに対する意識変革を図るため、「留学を考えるゼミ」を実施しました。受講者から好評であったことから、今後も更なる充実を図りたいところです。

SAF-FIEロンドン国際キャリア開発プログラム(春季4週間)実施報告

2013年2月14日～3月15日までの4週間で、FIEロンドン国際キャリア開発プログラムを実施しました。全プログラムはキャリア開発に焦点を当てた①British Life and Business、②Cross-Cultural Communication for Business、③International Careers Workshopのアカデミック科目で構成される内容であるものの、意識の高い低学年からの参加が多かったのが特徴でした。SAFメンバー大学の3校から学生が参加し、事前研修からプログラム参加

を通して、大学間の交流を持つことが出来ました。アカデミック科目と連動したフィールドトリップの中では、ニュースでも目にするBloomberg社への訪問に関して、「自分で働く場所を選んで自信を持って働いている社員の方々の様子を見て憧れを感じ、私も自信を持って働き社会に貢献したいと思うようになった」「海外企業、特に金融・情報といった最先端の分野を扱う会社に入れることがめったにないため、自己啓発になった」などの感想が多く寄せられました。

今後のプログラム開発の課題としては、4週間という短い期間の留学をより実りのあるものにするため、事前・事後の日本における研修内容の充実が重要であると考えています。学習内容に対する事前学習および参加目的の明確化、参加後の内省とディスカッションをプログラムに盛り込むことにより、短期プログラムの質の向上を図ることが次期の目標です。尚、2014年春季は、同様のプログラムをロンドンとニューヨークの2ヶ国で実施する予定です。



SAF日本事務局の活動内容

〔設立〕2000年

〔活動使命〕SAFは大学生の国際交流促進という使命のもと、国際的な大学ネットワークを組織し、1学期から1年間の質の高い留学機会を学生に提供することを目的としています。

〔活動種類〕

①留学プログラムの提供

「ジェネラル・プログラム」

交換／協定留学以外の認定／私費留学オプションとして、国際センターとの協力提携のもと、SAF留学プログラムを学生に提供します。

〔カスタム／セミカスタム・プログラム〕

特定の学部・学科におけるグループ留学プログラムを大学と共同企画・運営します。カリキュラムに組み込まれた留学プログラムを担当するため、大学のニーズやプログラムの規模に応じて専任のSAFプログラムコーディネーターが大学内に常駐します。

②専門知識・人材の提供

大学内の留学プログラムの運営や学生アドバイス等の国際関連業務に対して専門知識の提供ならびに必要なに応じたSAFのスタッフ派遣を実施しています。

〔メンバー大学〕 桜美林大学、沖縄国際大学、関西学

院大学国際学部、慶應義塾大学、駒澤大学、信州大学、昭和女子大学、中央大学、東京理科大学、東洋大学、南山大学、日本女子大学、明治大学、立教大学 (2013年8月現在)

〔加盟に必要な手続き〕

メンバーシップの形態	手続き	費用
フルメンバー	MoU	入会金・年会費など メンバー費不要
カスタム・プログラム	契約	各大学・特定学部との契約に基づく

東南アジアでのSAFの活動について

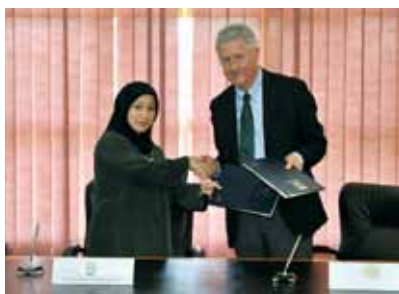
アジアにおけるSAFのネットワークは現在、中国、韓国、台湾、日本以外にも広がっており、特に東南アジアにおいてSAFは積極的な活動を行っています。東南アジアは、国によりニーズが大きく異なるため、各国のニーズに沿うモデルで留学の機会を提供しています。

ブルネイ・ダルサラーム大学は、歴史的な背景からイギリスには多くの協定校を持つものの、アメリカやオーストラリアの大学との協定校拡大に課題を抱えており、その解決策の一つとしてアメリカの大学が多く加盟するSAFの大学ネットワークへ加盟しました。2013年の秋に第1期生となる16名の学生がSAFネットワーク大学へ留学します。

一方シンガポールでは、ある程度の協定校を確保している大学が多いものの、協定を締結することが難しいトップ大学への留学やアカデミック・インターンシップ・プログラムへのニーズが高まっており、これらの理由からSAFの大学

ネットワークへの加盟に注目が集まっています。

また、香港やマレーシアの大学は、アジア諸国でのインターンシップ・プログラム開発には成功しているものの、査証(ビザ)の問題など、欧米でのプログラムを独自で開発することに難しさを感じているようです。SAFでは、主にアメリカでのインターンシップ・プログラムの導入に向けて、留学生課やキャリアセンターと話し合いを続け、今後協力関係を築くために準備を進めています。



ブルネイ・ダルサラーム大学との調印式の様子



ポストSAF留学: 大学院への自動進学制度の開発

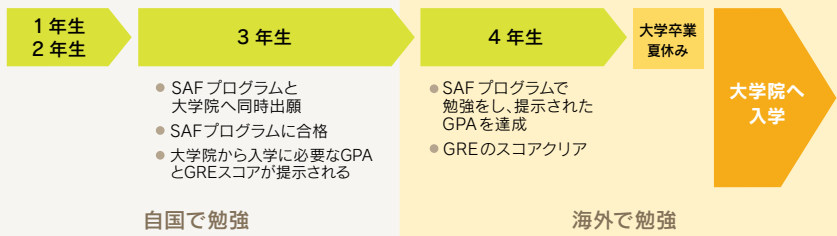
Daniel Shen
Director, SAF China Office

中国、韓国および台湾のSAF学生が、母国の在籍大学を卒業した後に海外の大学院への進学を希望する傾向があることを受け、大学院進学に関する情報を、SAFプログラム参加中に留学先大学のGraduate Schoolの担当者から得ることができるGraduate Access Programを2010年にスタートさせました。

現在はこのプログラムを発展させる形で、「Graduate Access Program with Automatic Progression」を導入することを検討しています。このプログラムに参加する学生は、最初の3年間は母国の在籍大学で勉強をし、4年次にSAFの学部授業履修プログラムに参加します。学生は、SAFのプログラムへの入学審査と同時に海外の大学院への入学審査も受け、優秀な学生であれば、SAFプログラム終了時点

でのGPAおよび別途受験するGREにて一定上のレベルをクリアすることを条件に、大学院への入学許可も同時に得ることができます。これはつまり、大学3年の時点で大学院への条件付き合格が出ることを意味します。2013年秋には、5名の台湾の学生がコロラド州立大学の同Programに参加します。この5名の学生は、SAFプログラムでの勉強も含めたGPAで3.0以上を取得し、かつ既定のGREスコアを取得することで、同大学のMaster of Management Practiceへの入学が許可されます。

中国、韓国および台湾の大学は大学学部生の留学を促進する一つの方法として、SAFの開発するGraduate Access Program with Automatic Progressionに注目しています。



SAF アジアメンバー大学一覧

日本

- 中央大学 Chuo University
- 桜美林大学 J. F. Oberlin University
- 日本女子大学 Japan Women's University
- 慶應義塾大学 Keio University
- 駒澤大学 Komazawa University
- 関西学院大学国際学部 Kwansai Gakuin University, School of International Studies
- 明治大学 Meiji University
- 南山大学 Nanzan University
- 沖縄国際大学 Okinawa International University
- 立教大学 Rikkyo University
- 信州大学 Shinshu University
- 昭和女子大学 Showa Women's University
- 東京理科大学 Tokyo University of Science
- 東洋大学 Toyo University

韓国

- Catholic University of Korea
- Chonnam National University
- Chung-Ang University
- Chungbuk National University
- Dongguk University
- Hankuk University of Foreign Studies
- Hanyang University
- Hongik University
- Inha University
- Kangwon National University
- Kongju National University
- Kookmin University
- Korea University
- Kyungpook National University
- Myongji University
- Pohang University of Science and Technology
- Pusan National University
- Seoul National University
- Sogang University
- Sookmyung Women's University
- Soongsil University
- University of Seoul
- Yonsei University

台湾

- Feng Chia University
- National Chiao Tung University
- National Chung Cheng University
- National Taiwan Normal University
- National Taiwan University
- National Tsing Hua University
- Tunghai University

中国

- Beijing Forestry University
- Beijing Institute of Technology
- Beijing Jiaotong University
- Beijing Normal University
- Beijing University of Chemical Technology
- Beijing University of Posts & Telecommunications
- Central China Normal University
- Central University of Finance & Economics
- China Pharmaceutical University
- China University of Mining & Technology Beijing
- China University of Petroleum
- China University of Political Science & Law
- Communications University of China
- Dalian University of Technology
- East China Normal University
- East China University of Political Science & Law
- East China University of Science & Technology
- Fujian Normal University
- Guangdong University of Foreign Studies
- Huazhong University of Science & Technology
- Hunan University
- Jinan University
- Nankai University
- North China Electric Power University
- Northeast Normal University
- Northeastern University
- Office of Pilot Software Engineering Schools (MOE)
- Shaanxi Normal University
- Shanghai Finance University
- Shanghai Institute of Foreign Trade
- Shanghai Jiaotong University
- Shanghai Normal University
- South China University of Technology
- Southeast University
- Tianjin University
- Tongji University
- University of Electrical Science & Technology in China
- University of International Business & Economics
- University of Science & Technology Beijing
- Xiamen University

(2013年8月現在)

グローバル・インターンシップ・カンファレンス (GIC) の報告

【主催】
シンガポール国立大学
【共催】
カリフォルニア大学バークレー校
ミシガン州立大学
AIC アカデミック・インターンシップ・カウンシル
【リージョナル・パートナー】
中央大学
Nankai University
Kyungpook National University

2013年6月11日～6月13日の日程でシンガポールで行われた「第7回グローバル・インターンシップ・カンファレンス (GIC)」には、SAFの各事務局のスタッフを含め世界各国の高等教育機関や海外インターンシップ・プログラム提供機関から、約200名の参加者が集まりました。

カンファレンス開催中は様々なセッションが行われ、海外インターンシップ・プログラムの内容と新卒採用を行う企業が期待するスキルのマッチング方法、学部生が海外インターンシップに参加することの意義やそれに伴う成果、外部教育機関と連携したプログラム開発についてなど、多くの研究発表が行われました。

また今年にはアジアにおける初めての開催と



いうこともあり、インターンシップの派遣学生数を伸ばすことに成功した韓国の大学の事例や、欧米の学生のためのアジアにおけるインターンシップ・プログラム開発についてなど、アジアに焦点を当てたケース・スタディが多かったのが特徴的でした。カンファレンスを通してアジア地域における海外インターンシップのニーズが今後更に高まっていくことを改めて実感すると共に、SAFでもアジアの学生のニーズに応えられるよう、積極的に海外インターンシップ・プログラムの開発を行っていく方針です。来年、同カンファレンスはカナダのトロントで開催の予定です。

〈GICのウェブサイト〉
www.globalinternshipconference.org

SAF留学プログラム参加学生からのメッセージ

American University Washington Semester Program (WSP)
(2012-2013 Academic Year)

中央大学
法学部政治学科 / 4年
岡嶋 美和 さん



WSPは全米各州と世界中の学生が一学期(約4か月)の間DCに集結し、それぞれのテーマに合わせて週2日のインターンシップと週3日のゼミを提供するプログラムです。私がこのプログラムを通して得られたものは、大別して挫折、マネジメント力、ネットワーキング力の3点です。そしてこれらの3点は今後大いに活かしていけると思います。

プログラム参加中に感じた自分の英語力の無さ、構成力の無さ、そして自分の勉強に対する受動的な姿勢は、私が求めていた「挫折」という経験を見事に達成してくれたと思います。自ら主体的・能動的に考える姿勢は受動性が善とされる日本の社会でも必要なものであり、ましてやグローバル化が進む今日、返って日本に今一番必要な要素なのではないかと思えます。将来日本の社会の一員になるという自覚を持ちながら、自らが社会をどのようにしたいのか、自分なり展望を描けるよう訓練を重ねたいと思います。

マネジメント力は、いかなる職に就くにせよ、仕事に不可欠な能力です。勉強面以外では、学生主体団体を通じて様々な講演会やイベントを催したことで、マネジメント力やより具体的には企画力・調整力・実行力が身についたと思います。小さな事務作業であれ大きな企画であれ、留学で培った企画力・調整力・実行力を駆使してPlan Do Check Action繰り返すことで、業務の改善に貢献するのみならず、自らの向上に繋がると思っています。

最後のネットワーキング力は、築き上げたネットワークも含め、生涯に残る財産です。就職活動の一環として、DCに滞在されている日本人の方とのネットワーキングに力を入れたことで、60名以上の方と面識を持つことができました。様々な職の方からお話を聞くことに注力した分、今まで知らなかった業務内容、価値観に触れることができたのは、留学で得た大きな収穫の一つです。出会えたこの幸運をありがたく維持しつつ、頂戴した励みを原動力に、自分の未来を切り開いていきたいと思います。

SAF日本事務局 スタッフ紹介



SAF日本事務局
ディレクター
ブレット・ラミンジャー



SAF日本事務局
副ディレクター
大学担当
留学プログラム開発
松田 晴子



SAF日本事務局
副ディレクター
プログラム運営・学生支援
福田 久美子



大学担当
留学プログラム開発
マネージャー
廣見 道子



プログラム運営・学生支援
マネージャー
児玉 有子



プログラム運営・学生支援
プログラムコーディネーター
藤本 実千代



プログラム運営・学生支援
プログラムコーディネーター
菊池 祐介



プログラム運営・学生支援
プログラムコーディネーター
門田 祐也



プログラム運営・学生支援
プログラムコーディネーター
ウエンゲル 和加子



プログラム運営・学生支援
プログラムコーディネーター
中里 祥子



プログラム運営・学生支援
プロジェクトオフィサー
大澤 博子



海外留学研修
プログラムコーディネーター
立教大学
異文化コミュニケーション学部
土開 稚子



プログラム運営・学生支援
プログラムコーディネーター
慶應義塾大学
短期海外研修プログラム担当
細井 美那



THE STUDY ABROAD FOUNDATION
AN INTERNATIONAL UNIVERSITY NETWORK

SAF スタディ・アブロード・ファウンデーション日本事務局
<http://japan.studyabroadfoundation.org>